

診療内容、アメニティ（快適な環境）など病院に求められるクオリティ。様々なニーズに応えられる病院にしていきたい。

開設から55年の間、医療機関として多くの方々に愛され続けてきた輝栄会病院。平成30年6月18日に新病院を開設するに当り、目的・役割について理事長の中村吉孝氏にお話を伺いました。



新病院開設の事業コンセプト

輝栄会病院は、父の代から合わせて55年にわたって地域で医療をやってきましたが、やはり年々病院に求められるクオリティというのが上がっています。診療の内容、アメニティ（快適な環境）など色々な面で高いクオリティが求められているので、リニューアルをしてニーズに応えられる病院にしていきたいということ、今回思い切って移転新築を行うことにしました。

移転にもなう新要素

新しい要素としては、快適な病室が挙げられます。これにより入院時の療養環境の改善が期待できます。その他にも外来の待合の快適性・利便性、医療機器の高度化・最新化その辺りが大きく変わるところです。

大きな特徴や魅力

幅広くやっていますけれども今回のリニューアルの関しては急性期医療・二次救急医療、ここに力点があります。

二次救急に関しては、今まで以上に力を入れたと考えています。二次救急というのは診療所レベルのことで、お腹がいたいとか咳が出るとか比較的軽い急患を診断して処方するものです。緊急開腹をするとか、心臓を開けるとか、そういう非常に高度な難しい手技を展開するのが三次救急。二次救急はその間ですね。もちろん、どのような患者にも対応して、適切に割り振るといったことを行います。

地域との連携

輝栄会病院の周りには色々な病院や診療所があります。そことの連携体制、これを重要視していきたいと思っています。

例えば診療所では持っていない診断機器、そういったものを提供したいです。また、脳卒中外来のような特殊な外来もありますので、その辺りも地域の病院・診療所に利用していただき、バックアップの役目をしていきたいと思っています。

高齢化社会の今後

国が勧める在宅診療、これにも

積極的に関わっていきたいです。

輝栄会病院もサービスタウン高層者住宅を運営していますし、往診もしています。ただ、そういうことを事業として取り組んでいる周りの事業所とも連携をして、そういった福祉や介護サービスの人たちのサポートも行なっていきたいと思っています。

アピールポイント

地域のみなさんにとって、敷居の低い、使いやすい病院を目指しています。大学病院とか高度急性期病院は、ちょっとたじろいでしまうというような患者さんでも、気楽にきて利用できるのが輝栄会病院の役割だと思います。



医療法人輝栄会
福岡輝栄会病院
〒813-0044 福岡市東区千早5丁目11-5
6/18より新住所 福岡市東区千早4丁目14-40
TEL 092-681-3115

急性期医療・二次救急医療、ここに力点があります。

医療法人輝栄会 **福岡輝栄会病院**

理事長・院長 **中村 吉孝 氏**